

平成29年度愛媛県公立学校新規採用教職員辞令交付式 教育長あいさつ

平成29年4月3日(月)
生涯学習センター 県民小劇場

平成29年度愛媛県公立学校新規採用教職員辞令交付式に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

ただ今、辞令を交付しました小学校教諭183名、中学校教諭75名、県立学校教諭66名、養護教諭15名、栄養教諭2名、そして、学校事務職員39名、合わせて380名の意欲と情熱に満ちた皆さんを、愛媛県の教育界にお迎えできたことを、大変うれしく、心強く感じております。

今日、皆さんにお渡しする辞令書には、愛媛の教育界に新しい風を吹き込んでほしいと願う県民の期待や、子どもたちの健やかな成長と幸せを願う保護者や地域の方々の熱い思いが込められています。皆さんの活躍を心から期待しております。

さて、現在、我が国の教育は、道徳の教科化や小学校での英語の教科化、プログラミング教育の必修化など、未来社会を見据えた大きな変革期を迎えております。本年3月末には、新学習指導要領が告示され、平成32年度からの小学校での完全実施を皮切りに、いよいよ本格的に、新しい段階に一步踏み出すこととなります。また、今年9月30日からは、64年ぶりに本県単独開催となるえひめ国体、えひめ大会も開催されます。このような大きな節目を迎える年に、皆さんは、愛媛の教育の一翼を担う教職員として、スタートを切ることとなります。

本県の県勢の伸展に多大な功績を残されました詩人 坂村 真民さんの言葉に「天才には、そう誰にでもなれないが、本物には、努力しだいでなれる」というものがあります。皆さんには、しっかりと子どもたちと向き合い、一日も早く、子ども、保護者、地域の方々、そして同僚に信頼される教職員になれるよう、今後またゆまぬ努力を続けていただきたいと思います。

これからの長い教職生活では困難な出来事に直面することもあるでしょう。そんな時こそ、愛媛の教職員としての一步を踏み出そうとする、今、この瞬間の情熱を思い出し、夢に向かって大きく成長しようとする愛媛の子どもたちのために前に進んでください。

最後になりましたが、子どもたちの笑顔を輝かせるためには、まず、皆さんが健康であることが大切です。これからの毎日が皆さんにとって明るく希望に満ちたものであることを期待してあいさつといたします。